

# nikkor club

274  
2023 AUTUMN

nikkor  
club

特集  
動く被写体を  
撮る秋





表紙写真 別所隆弘

一日荒れ模様だったその日、日没の時間帯に分厚い雲が急に割れ、空が焼け始めました。望んでもなかなか巡り会えない美しい空の下、巨大な飛行機が飛び込んで来た幸運を、この写真を見るたびに思い出します。

## CONTENTS

特集

## 09 動く 被写体を撮る秋

写真・解説 助川康史／別所隆弘／中野耕志

02 ニッコールクラブ コミュニティサイト

## PHOTO HUB by nikkor club

## コンテスト

- 34 サロン・ド・ニッコール カラーの部  
選評：小林紀晴／三好和義
- 46 サロン・ド・ニッコール モノクロームの部  
選評：ハナブサ・リュウ
- 54 ネイチャー・フォトサロン  
選評：佐藤倫子
- 62 チャレンジ・フォトサロン  
選評：大西みつぐ
- 67 予選通過者一覧
- 68 総評・得点表
- 70 ワンポイントアドバイス

## 作品

- 04 THE GALLERY企画展  
Finding Beauty Reylia Slaby
- 05 THE GALLERYセクション展  
Pastel ～夢をめぐる ミヅタユキ
- 06 THE GALLERYセクション展  
海でプールな人々 クキモトノリコ  
～People at the Pool beside the Beautiful Beach～
- 07 THE GALLERY企画展  
空鉄 2023空撮鉄路日誌 吉永陽一
- 表4 熊切大輔×Z 9

## 製品情報

- 26 PRODUCT REVIEW VOL.24  
NIKKOR Z 70-180mm f/2.8 上田晃司
- 32 ニッコールクラブ会員限定  
NIKKOR Z 70-180mm f/2.8  
特別販売のご案内

## 連載

- 表2 鉄路彩々  
深まる秋、一期一会を作品にする 助川康史
- 22 私のライフワーク 第10回  
普遍 秋山華子
- 24 受賞者の「いま」  
第47回木村伊兵衛写真賞・第31回林忠彦賞  
新田 樹 文・写真：池谷修一
- 28 エプソン 楽しくきれいにプリント講座 vol.17  
エプソンプリンターで取り組む  
作品づくり② 高砂淳二
- 30 アベっちの使った!撮った! vol.2  
Z 8 その② 阿部秀之
- 33 Let's Go Nikon College! 第17回  
ブルーインパルス撮影を対象とした  
オンライン講座の紹介 水咲奈々

## インフォメーション

- 08 写真展スケジュール
- 71 会員写真展 PickUP!  
「生命萌ゆる～北海道の野生～」佐藤 圭/  
「confusion」ニッコールクラブみやこ支部
- 72 NCニュース
- 74 アドバイザーのお仕事ファイル ハナブサ・リュウ×ニコンカメラ  
ハナブサ・リュウ全撮影による、  
別冊太陽『ル・コルビュジエ』発売
- 75 イベント情報
- 79 支部だより
- 表3 楽しく学べる! 写真教室 Nikon College
- 巻末 ニコンダイレクトFAXご注文表  
ニッコールクラブ登録情報変更依頼書  
会報275号フォトコンテスト応募規定  
修理料金割引券

# PHOTO HUB

by nikkor club



ニッコールクラブ  
コミュニティサイト

PHOTO HUB  
by nikkor club

9月4日(月) **OPEN!**

「PHOTO HUB by nikkor club」は、ニッコールクラブ会員の皆さまが、集う・楽しむ・成長する・極める・つながる新たな「会員同士の相互親善」の場として、会員の皆さまをサポートするオンラインコミュニティです。

「PHOTO HUB」では同じ目的を持った仲間とともに、時間・空間を共有し、楽しみながら創作活動のモチベーションを高めていただくため、6名のアドバイザーが担当する「ニッコールクラブ サークル」を開始。被写体や目的に合わせてサークルを選ぶことで、撮影を楽しむことはもちろん、ご自分の作品を投稿したり、メンバーの作品にコメントすることで写真を通じて交流を深め、会員皆様のレベルアップに繋がることを目指します。

ニッコールクラブ会員の方であればどなたでもご登録が可能です。  
皆様のご登録をお待ちしております

## PHOTO HUBで何ができるの？

### 1 写真投稿

ご好評をいただいております「メンバーズ・フォト」がPHOTO HUBでリニューアル！作品の投稿はもちろん、お気に入りの作品に「いいね」をしたり、コメントすることができるようになります。

### 2 メンバーズ・トーク/質問箱

写真や撮影に関するアイデアや思いを自由に投稿できます。また、参加者同士が撮影に関する質問やその回答を投稿し合い、コミュニケーションをとることによってお互いにレベルアップを目指します。

### 3 サークル

6つのサークルからお好きなテーマを選んでご参加いただけます。オンライン・リアルともに様々なイベントを企画してまいりますので、ぜひご参加ください。

サークル毎に出される「お題」にそった作品を投稿した

り、トークページでサークルの仲間と交流することができます。担当アドバイザーを交えた少人数のワークショップも企画。こんな被写体を撮影してみたい、ここに行ってみたい！など、サークルへのご意見もぜひお聞かせください。

#### 各サークルのイベント予定

現在予定しているサークルのイベントを一部抜粋してお伝えします。

※下記は予定のため、予告なく変更になる場合があります。スケジュールなど詳細はPHOTO HUBでご案内いたします。

※オンラインセミナーはZoomを使用する予定です。

サークル	日時	内容	定員(予定)	参加費(予定)
ステップアップ 秋山華子先生	9月16日(土)	オンラインセミナー 「光と影」	100名	無料
	10月15日(日)	ワークショップ レンズ効果を学びながら被写体探しのコツをつかもうin 神代植物公園	15名	有料
	11月5日(日)	ワークショップ レンズ効果を学びながら被写体探しのコツをつかもうin 花博記念公園鶴見緑地	15名	有料
機材 上田晃司先生	9月10日(日)	オンラインセミナー 「Zレンズに外れなし!(仮題)」	100名	無料
	10月15日(日)	オンラインセミナー 検討中	100名	無料
	12月2日(土)	ワークショップ レンズお試しキャラバンin横浜	15名	有料
スナップ 熊切大輔先生	9月24日(日)	オンラインセミナー 「スナップ論」	100名	無料
	10月22日(日)	ワークショップ 人を活かした街スナップin東京	15名	有料
	11月12日(日)	ワークショップ 人を活かした街スナップin神戸	15名	有料
組写真 小林紀晴先生	9月27日(水)	オンラインセミナー 「組写真とは」	100名	無料
	10月21日(土)	ワークショップ 組写真レッスンin新宿	15名	有料
	11月25日(土)	オンラインセミナー 「組写真を見よう」	100名	無料
ポートレート 佐藤倫子先生	9月10日(日)	オンラインセミナー 「ポートレートとは」	100名	無料
	9月23日(土)	ワークショップ ポートレートワークショップin東京	15名	有料
	10月28日(土)	ワークショップ ポートレートワークショップin大阪	15名	有料
風景 三好和義先生	10月1日(日)	オンラインセミナー 「Z8で撮った楽園風景」	100名	無料
	10月29日(日)	オンラインセミナー 冬の風景写真撮影準備	100名	無料
	11月18日(土)	ワークショップ 三好先生と撮る「室生寺・秋風景」	15名	有料



こちらから登録できます

PHOTO HUB by nikkor club

<https://nc-community.nikon-image.com/>

# 動力 撮る秋

## 被写体を

最新のオートフォーカス技術は、  
高速な動きをする被写体も確実にとらえるようになった！  
今や、飛行機や電車、野鳥などの追跡撮影も、  
臨場感あふれる作品も、的確にカメラ機能を  
使うことで手軽に実現可能になりました。  
今年の秋は、風景と動く被写体を  
組み合わせた作品づくりを楽しんでみてください。

助川康史 // 鉄道

別所隆弘 // 飛行機

中野耕志 // 野鳥

撮影：助川康史  
リアルライブビューファインダーが威力を発揮する  
ズーミング流し撮り。

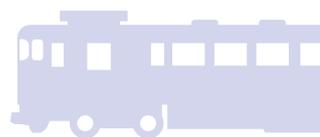
力  
動  
く  
被写体を撮る秋①

# 鉄道写真で使いたい

## カメラ機能と

## おすすめレンズ

助川康史 写真・解説



暑かった夏も朝晩の空気に冷たさを感じられるようになると、秋はすぐそこです。鮮やかな彩りの季節は鉄道ともベストマッチ！フォトジェニックな鉄道写真が撮れるというだけで、鉄道写真愛好家の皆さんを始め、たくさんの方がワクワクしているのではないのでしょうか。秋の彩りと鉄道というと鉄道風景写真を思い浮かべるとは思いますが、今回は秋の鉄道をよりアグレッシブに撮るためのテクニクをお送りします。

高速で走る列車をより確実に撮るために必要なのは努力と根性！……も良いですが、機材の能力や機能を理解して使いこなすことが大切です。ちなみに今回お話しする鉄道写真撮影で使いたいカメラ機能は『9種類の被写体検出&3D・トラッキング』『Real Live Viewfinder』『オートキャプチャー』（Z9のみ）の3つです。どれも最新機種Z8やフラッグシップであるZ9

の機能ではありませんが、他のZシリーズの機能を使った撮影でもヒントになるはずです。美しい秋の鉄道風景写真求めて撮影に出たときは、撮影者自身がよりアグレッシブに考え、動きながら撮影するテクニクにも挑戦してみてください。ワンランク上の作品を撮る楽しさを味わえること間違いなしです！

リサーチにおすすめアプリ

### ●『太陽の場所と軌跡』（スマホアプリ）

日の出日の入りだけでなく、日中の太陽の方角と角度までイメージできます。

### ●『ウェザーニュース』（スマホアプリ）

昔から愛用しているお天気アプリ。精度が高く、無料版でも十分な予報と状況を教えてくれます。

### ●『時刻表またはWEB時刻表』

WEB時刻表は(株)交通新聞社『DJ鉄道楽ナビ』がおすすめ。通常の時刻表表示に加え、時刻を知りたい駅を中心に上りと下りの列車を順に並び変える機能があるので撮影にはとても便利。

Z9・NIKKOR Z 24-120mm f/4 S-f/9-1/4 秒・WB: 晴天日陰・ISO200

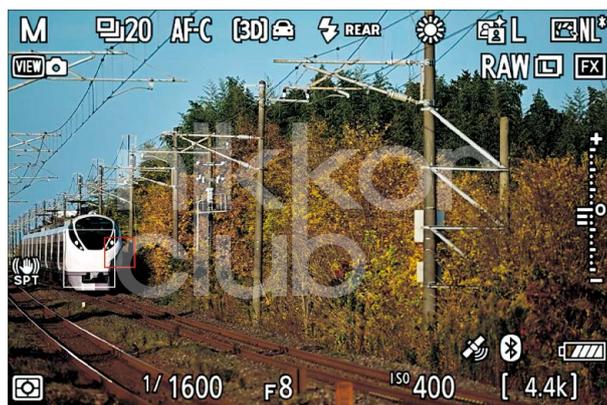
nikkor  
club

## おすすめ機能 1 9種類の被写体検出&3D-トラッキング



列車が近づいてきたら高速連写で撮影！ベストピントの完璧な編成写真が撮れました。このように画面の端から端へ列車が動く構図は3D-トラッキングが最も有効。他のAFエリアでも言えることですが、AF-CはAFポイントが被写体を長くとらえ、移動速度の計算の時間を多くすればよりAF精度が上がります。

Z 9・NIKKOR Z 100-400mm f/4.5-5.6 VR S・f/8・1/1600秒・WB: 晴天・ISO200



列車の先頭車から最後尾の車両まで、構図いっぱい撮るのが編成写真です。高速で走る列車を編成写真として撮るときは正確なピント位置を掴むテクニックが必要ですが、中望遠以上の望遠系ではレンズの圧縮効果によって正確な置きピンは難しくなります。そこで活躍するのが9種類の被写体検出(乗り物)と3D-トラッキング。被写体検出(乗り物)で鉄道車両のヘッドライトを中心にマーキングし、列車の動きに合わせてピントを動かして続けるコンティニユアスAFサーボの3D-トラッキングを併せれば確実に列車の先頭部を追従し続けます。後は高速連写をするだけで、カリカリピントの編成写真を撮ることができます。

(上) 予め構図を決め、3D-トラッキングのAFポイント(小さい赤枠)を列車が来る方向にセット。列車が来るのを待ちます。やがて列車が現れると被写体検出(乗り物)(大きい白枠)が検知を開始、列車の動きに合わせて白枠が移動し始めます。

(下) 動いてきた被写体検出(乗り物)の大きな白枠が3D-トラッキングの赤枠に近づき、AFを開始すると枠が合体して大きな赤枠(カスタムで色を赤に設定)になりました。被写体検出(乗り物)と3D-トラッキングの合わせ技となり、格段に高いAF精度で列車の先頭部にピントを合わせながら追い続けてくれます。

斜めに向かってくる列車を流し撮りとズームレンズの露光間ズームング(この時はズームアウト)を組み合わせることで撮影すると、まるで列車が飛び出してくるかのような作品が撮れます。流し撮りの上級テクニックです。

Z 9・NIKKOR Z 24-120mm f/4 S・f/9・1/20秒・WB: 晴天日陰・ISO200



## おすすめ機能 2 Real-Live Viewfinder

静止画である写真に動感を表現する流し撮り。手ブレする数値よりも遅いシャッタースピードに設定して、列車の動きに同調するように画面の一定場所にとらえ続け、カメラを動かしつつ撮影します。うまく決まると走っている列車は止まり、背景が流れるというダイナミックな作品が撮れます。そこで威力を発揮するのがブラックアウトフリーの

『Real-Live Viewfinder』。ファインダー像の消失が起きないよう同一画像を表示する他のブラックアウトフリー撮影とは異なり、連写中でもまるでビデオを見ているかのように滑らかに列車を追うことができます。特に流し撮りの上級テクニックである『ズームング流し』には威力を発揮します。

## おすすめ機能 3 オートキャプチャー (Z 9のみ)



「オートキャプチャー」は細かな設定が大事。この時はカスタムワイドエリアAFを右下にセットし「モーション」で被写体の動く方向を「真横右方向」と「左上から右下へ」、連写時間「2秒」にして撮影。別のカメラで撮影しているとZ9が連写する音が聞こえてきたので思わず笑ってしまいました。それ程便利な機能です。

Z 9・NIKKOR Z 24-70mm f/2.8 S・f/8・1/1000秒・WB: 晴天・ISO800・C-PLフィルター使用

今年の6月にZ9に実装された『オートキャプチャー』をご紹介します。『オートキャプチャー』はZ9に触れることなく、任意のAFエリアに入った動く被写体に対してピント合わせから撮影までこなしてくれるユニークな無人撮影を補助する機能です。鉄道写真撮影では森などから急に列車が飛び出すような構図や、2台体制のカメラをそれぞれ離して撮影する状況、はたまたダイヤが乱れてしまい、いつ列車が来るかわからないときに忘れ物に気付いた時(笑)などなど、多くの場面で活躍してくれます。様々な撮影状況を考慮した設定が組み込まれているのでセッティングには多少慣れは必要ですが、撮影の強力なサポートになります。

## おすすめレンズ



### NIKKOR Z 100-400mm f4.5-5.6 VR S

編成写真や遠景撮影など、鉄道写真のあらゆる状況に対応する中望遠～超望遠をカバーする高画質S Lineズームレンズ。全焦点域にわたりクリアでシャープ、画面中央部はもちろん、4隅も収差の少ない解像感を味わえます。またナノクリスタルコート&アルネオコートが逆光時のゴーストやフレアを強力に抑制。超望遠ズームながら70-200mm f/2.8ズームレンズクラスと同等のサイズ&軽量ボディはアグレッシブな撮影に貢献します。

超望遠ズームレンズの性能は列車を大きく写す編成写真よりも鉄道風景写真で現れます。作例を撮影した時はピントを合わせた列車の解像感はもちろんですが、手前のススキが柔らかなボケ味で表現できたのには驚きました。

Z 6 II・NIKKOR Z 100-400mm f/4.5-5.6 VR S・f/10-1/500秒・WB: 晴天・ISO200



### NIKKOR Z 24-120mm f/4 S

広角から中望遠までカバーする汎用性が非常に高いズームレンズです。鉄道風景写真から鉄道スナップ、編成写真までをこなすマルチレンズで、鉄道写真を始めたいという人に最初に持って欲しい一本です。開放F値がf/4と比較的明るく、どの焦点域でも解像感が素晴らしい上にとってもコンパクトなのも特筆すべき点です。Zシリーズのカメラに常に装着した状態でカメラバックにしまっておけば、一期一会の得難いチャンスも逃がさないでしょう。

朝日が山際から顔を出した瞬間、列車がやってきました。強い逆光ながら杉木の輪郭と車両のディテールはしっかり出ていてシャドウ部の解像感も良好。鉄道写真のどの場面、状況でも活躍する頼れるレンズです。

Z 9・NIKKOR Z 24-120mm f/4 S・f/7.1-1/1000秒・WB:5000K・ISO400



### プロの設定画面のカスタムを見てみたい！

私のZ 9のiメニュー設定はAF関連や「ピクチャーコントロール」、「ホワイトバランス」など、重要なメニューを迅速かつ間違えないよう両側に配置しています。またAF-SとAF-Cの設定を使い分ける「SHOOT」(撮影メニュー切り替え)、「アクティブD-ライティング」など、特に良く使うメニューを下段に揃えています。



nikkor club



力  
重く 被写体を撮る秋②

# 飛行機写真で使いたい カメラ機能と おすすめレンズ

別所隆弘 写真・解説

夏の空といえば、強い日差しと大きく白い入道雲、そして太陽が徐々に落ちていくにつれてドラマティックに焼けていく夕焼け空と、夏にしか撮れない空模様はたくさんあります。その空をキャンパスにして大きな翼を広げることが、飛行機。風景写真の魅力と、地球上で最速のスピードを誇る「動きもの」という二つの魅力が交錯するのが飛行機撮影の魅力です。光と闇をとらえながら、飛行機をより魅力的に撮るために、今回の記事ではZ8やZ9という、ニコンの最上位機種の使用した飛行機撮影のお話をできればと思っています。

まずZ8ではやはり新機能としてオートフォーカスに専用の飛行機モードが搭載されたことが衆目を集めました。その辺りを少し深掘りさせていただきます。この「飛行機モード」が、飛行機撮影における花形の機能で、次に

欠かせないのが背面液晶モニターが「縦軸チルト」になること。この「縦軸チルト」も飛行機撮影では欠かせない機構の一つとしてご紹介したいと思います。最後に、皆さんの撮影がより便利になる撮影メニューのカスタマイズについてもお話します。ぜひ最後までお読みください。

リサーチにおすすめアプリ

## ●『Flightrader 24』(スマホアプリ)

ひっきりなしにやってきて飛び去る飛行機のスケジュールをいかに正確に把握するかにかかっています。世界中の飛行機の運行スケジュールをスマートフォンで知ることができます。

## ●『Windy』(スマホアプリ)

天気系のアプリ。飛行機や花火といった、私が撮りたい被写体は風に影響を受けるものが多く、これで詳細に風の方向や強弱を知ることができます。実は天気アプリとしても非常に優秀です。

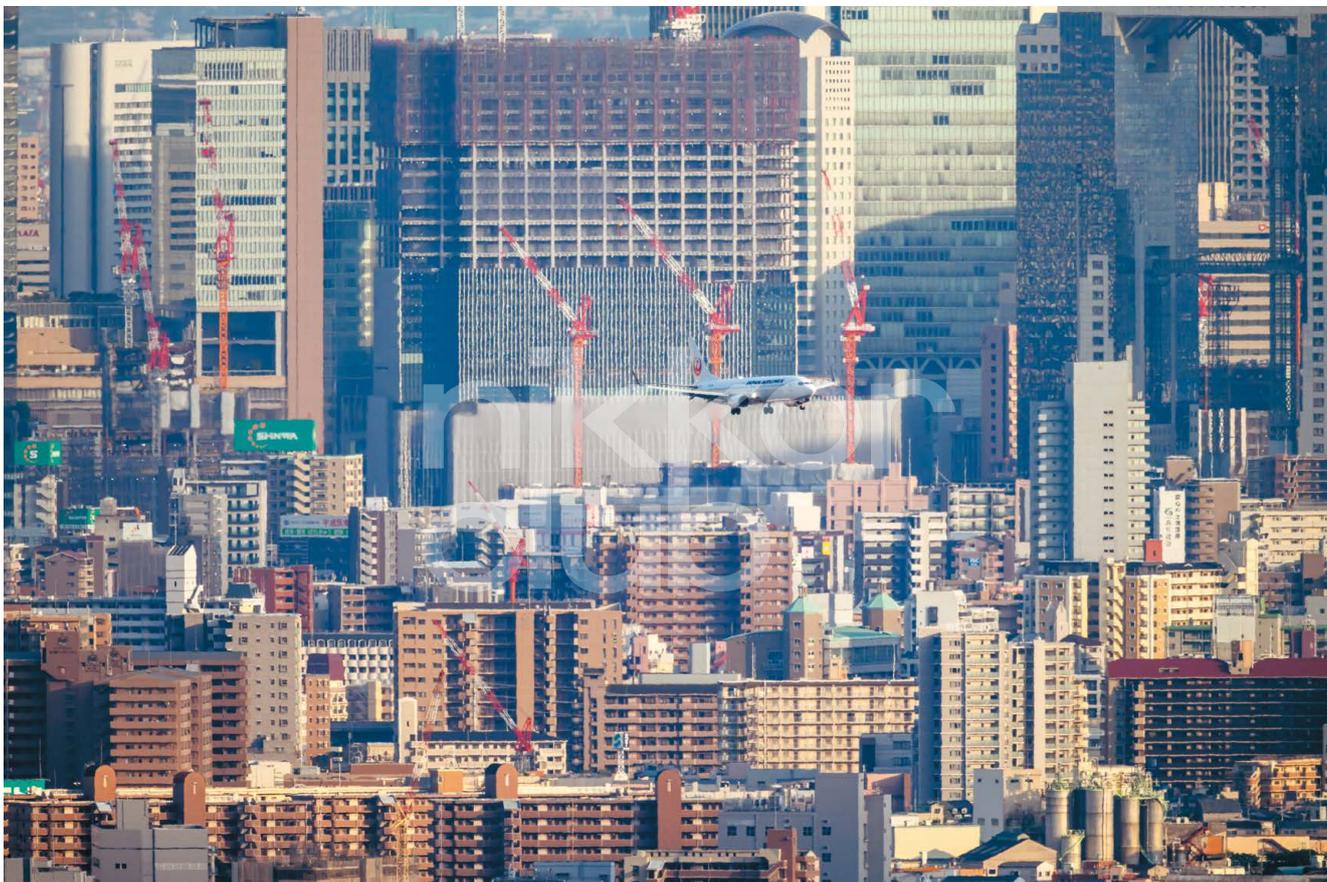
## おすすめ機能 1 飛行機モード



Z 8が発表された時に、ひときわ注目を集めた機能が「飛行機モード」と呼ばれる専用の被写体認識AF。飛行機という、幾分ニッチな被写体にも関わらず専用のAFが追加された理由は、飛行機をAFで撮るとするのがそもそも非常に難しかったからです。ですがZ 8に搭載されたこの特別な被写体認識は、単に飛行機を高精度で追いかけるというだけではなく、例えばそもそもAF自体の信頼度が落ちる低照度下の撮影や、あるいは遠方に被写体があるような捕捉するのが難しいほどのサイズであっても、極めて正確にAFが効きます。三つの作例は、まさにそのような「不利な状況」を選んだものですが、ガッチリ飛行機をとらえていることがよくわかるはずです。

(上) 写真作品として輝度をあげているので明るく見えるかもしれませんが、撮影時間は夜の19時30分。太陽の光が落ちた後の暗い夜空を、飛行機が超高速で駆け抜けていく瞬間を撮影しています。エンジンの解像度をご覧ください。  
(下) 超望遠400mmでさえ米粒大にしか見えない飛行機を、完璧にとらえた一枚。特にこの時は、雲の間から光芒が差し込んでいて、被写体に当たる光の条件は高速でコロコロ変わる状況でしたが、連写した全ての写真で全てピントが当たっている驚異の精度を見せつけてくれました。

(上) Z 8・NIKKOR Z 50mm f/1.2 S ・f/1.8・1/400秒 ・WB オート ・ISO 3200  
(下) Z 8・NIKKOR Z 400mm f/4.5 VR S ・f/5.0・1/800秒 ・WB オート ・ISO 100



カメラにとっては嫌がらせのような、複雑に入り組んだビル模様の中を飛ぶ一機の飛行機を、800mmにテレコンバーターをつけて1600mmで狙った瞬間。夏の灼熱の温度で空気は揺らぎ、ただでさえAFにとっては苦しい状況でしたが、これを含めた全てのコマでピントは完璧でした。

Z 8・NIKKOR Z 800mm f/6.3 VR S + Z TELECONVERTER TC-2.0x ・f/13・1/400秒 ・WB オート ・ISO 640

## おすすめ機能 2 縦軸チルト

横にチルトすると同時に、縦にもチルトが加わるという4軸チルトは、写真家の撮影を楽にしてくれます。それは飛行機も例外ではありません。例えば雨の日の後の千里川は、水捌けの「悪さ」が幸いして、リフレクションを狙うことができます。空中に浮いた被写体を上下ともにとらえるには縦で狙うのが常套ですが、そのような状況においてこれまで縦軸チルトがない時は、ある程度あたりをつけて「うまく撮れて！」と祈りながらシャッターを押すしかありませんでした。縦軸チルトが導入されたことで完璧に水平を保ったままこのような写真を撮ることが可能になりました。

## おすすめ機能 3 撮影メニュー

Z 8ではカメラ前面にある二つのFnキーを使いこなすと、より撮影の可能性が広がります。特にFn1に初期設定で配されている「撮影メニュー」切り替え機能は、Shoot AからDまで、細かく撮影設定を切り替えることができる機能で、これが飛行機撮影ではとても効果的なのです。千里川での撮影、離着陸のタイミングが忙しく、それこそ数秒しか間が空いていないなんてこともザラにあります。着陸と離陸では、撮影設定が正反対なのです。着陸はシャッター速度は最低でも1/200秒より速くしたいし、逆に離陸の撮影はできれば長く引っ張ってクリーンな絵を撮りたい。それらに合わ



日没後の薄暗闇の中で、右から左へ飛行機が抜けて行く時間は1秒にも満たないごくわずかな時間ですが、それにもかかわらず完璧に飛行機をとらえてくれています。

Z 8・NIKKOR Z 24mm f/1.8 S・f/1.8-1/400秒・WB: オート・ISO5000

せて他の数値も全て違います。その違う設定をいちいち手元でやっているとしゃッターをチャンス逃してしまいますが、Fn1で撮影メニューを切り替えることで、一瞬でReady、Action！となるわけです。



シャッター速度1/200秒、ISO 6400、f/2.8で撮影した写真です。この写真を撮ったあと、例えばすぐに飛行機が右から離陸のために滑走路に入ってくるなんていうことも、千里川ではザラにあります。例えばこの写真を撮った直後に、右の写真を撮影しています。ニコンの誇るスーパーレンズであるNIKKOR Z 400mm f/2.8 TC VR Sで両方とも撮影していますが、右の設定はシャッター速度1秒、ISO500、f/2.8です。同じレンズを使っていますが、設定が全く正反対なのがお分かりになるかと思います。こうした撮影を可能にするのが、撮影メニューのFnボタン切り替えです。

## おすすめレンズ



### NIKKOR Z 24mm f1.8 S

飛行機撮影では望遠レンズの出番と多くの方が思っておられるかもしれませんが、私のおすすめは広角レンズ。特に24mm近辺は、ちょうど頭上を通過した直後の飛行機のダイナミックな美しさと大きさの全景を背景とともにとらえるのに最高のチョイスです。そして単焦点ならではの端正な写りが、飛行機の鉄の質感と、焼けに焼けた空の色を完璧に伝えてくれます。

荒天の後の晴れの日に見せる荒々しい夕焼けは、飛行機のダイナミックな形状と相まって、素晴らしい絵になります。

Z 8・NIKKOR Z 24mm f/1.8 S・f/1.8・1/400秒・WB: オート・ISO200



### NIKKOR Z 100-400mm f4.5-5.6 VR S

ズームレンズは、やはりこれ、100-400mmこそ飛行機撮影の王道です。その即応性の高さから、着陸から離陸まで、オールマイティに対応できる最高的一本。特にニコンのこの超望遠ズームは、Sラインに相応しい凄まじい描写を見せてくれる神レンズといえます。

飛行機を望遠で撮るか広角で撮るかは永遠の悩みの一つですが、望遠で撮った飛行機は、一瞬を切り取る写真という技法ならではの、端正な雰囲気があります。

Z 8・NIKKOR Z 100-400mm f/4.5-5.6 VR S・f/4.5・1/500秒・WB: オート・ISO200



### プロの設定画面のカスタムを見てみたい！

私のZ 8のiメニュー設定は、WBを挟んで両側に「インターバル撮影」と「タイムラプス撮影」を入れています。普段使わないからこそ、とっさに欲しいタイミングですぐにアクセスできる場所にあえて入れています。また左下には頻繁に切り替えるHLGとSDRにアクセスするためのメニューを配置しています。



# 野鳥写真で使いたい

## カメラ機能と

## おすすめレンズ

中野耕志 写真・解説



ニコンZ9とZ8は9種の被写体検出が可能なオートフォーカスや最高120コマ/秒の高速連写など、ミラーレスならではの先進的な機能を搭載した野鳥撮影に最適なカメラです。しかし多機能であるがゆえに使いこなすに戸惑ってしまうのも事実。そこで本稿ではZ9とZ8での野鳥撮影時に筆者が多用しているおすすめ機能やカメラ設定を3つほど紹介します。

まず1つめはプリキヤプチャ機能。これはシャッターボタンを押してから最大1秒間遡って記録できる機能で、野鳥が飛び立つシーンを確実に撮影できるようにしました。この機能はZ9ではVer.2.00ファームアップ時に追加され、Z8には発売当初から採用されています。2つめはAFエリアモードの設定。Z9やZ8ではAF可能エリアがほぼ全面に分布しているので、他のテクスチャ

にAFを引っぱられることが少なくありません。そこでAFエリアモードをWIDE-Lなどに絞り込むことでより確実に野鳥にAFを合わせることが肝要になってきます。3つめはDXクロップ。野鳥撮影では超望遠レンズを使用しても十分な大きさに写せることは少ないので、1.5倍の望遠効果を得られるDXクロップが便利です。

### 野鳥撮影の事前準備

#### ● 野鳥観察3点セットを揃える

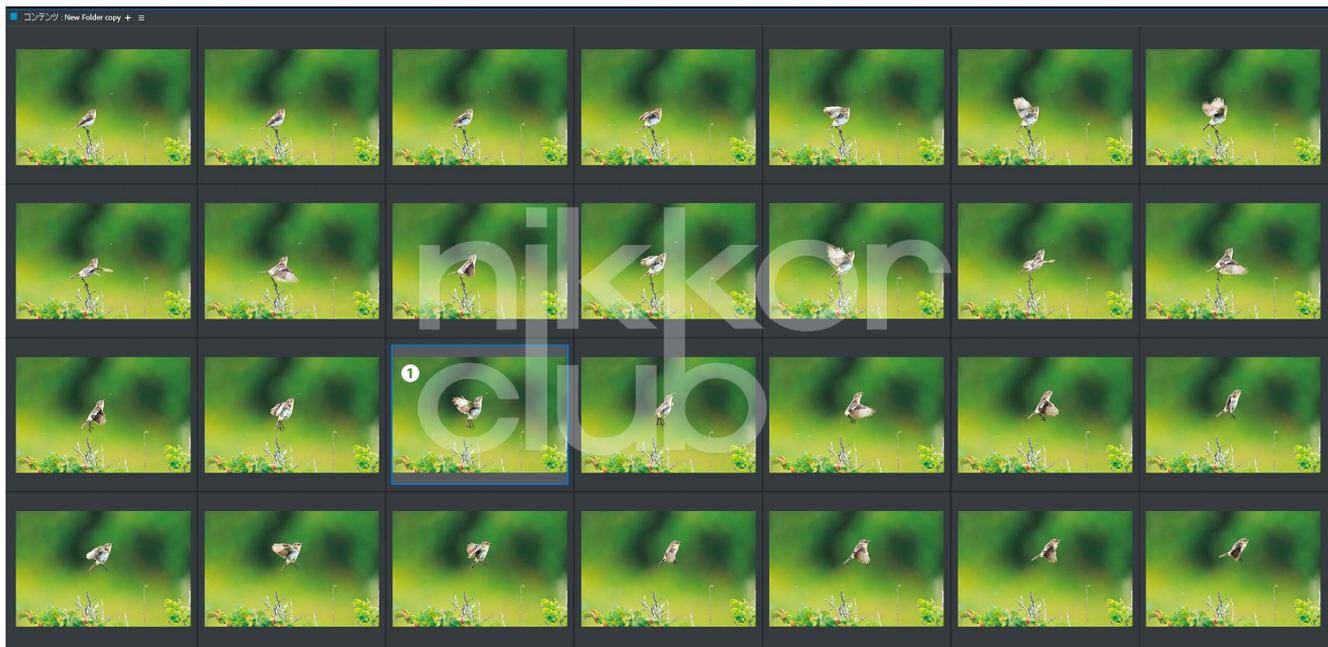
- ① 野鳥図鑑：イラストのものが使いやすい
- ② 双眼鏡：倍率は8倍～10倍、口径は30～40mmクラスがおすすめ
- ③ 記録用フィールドノート：表紙が硬く屋外でも記入しやすいもの

● 事前の観察を通じて基本的な野鳥の識別や生態を知り、野鳥の生活を脅かさないための適切な距離感を体得する。

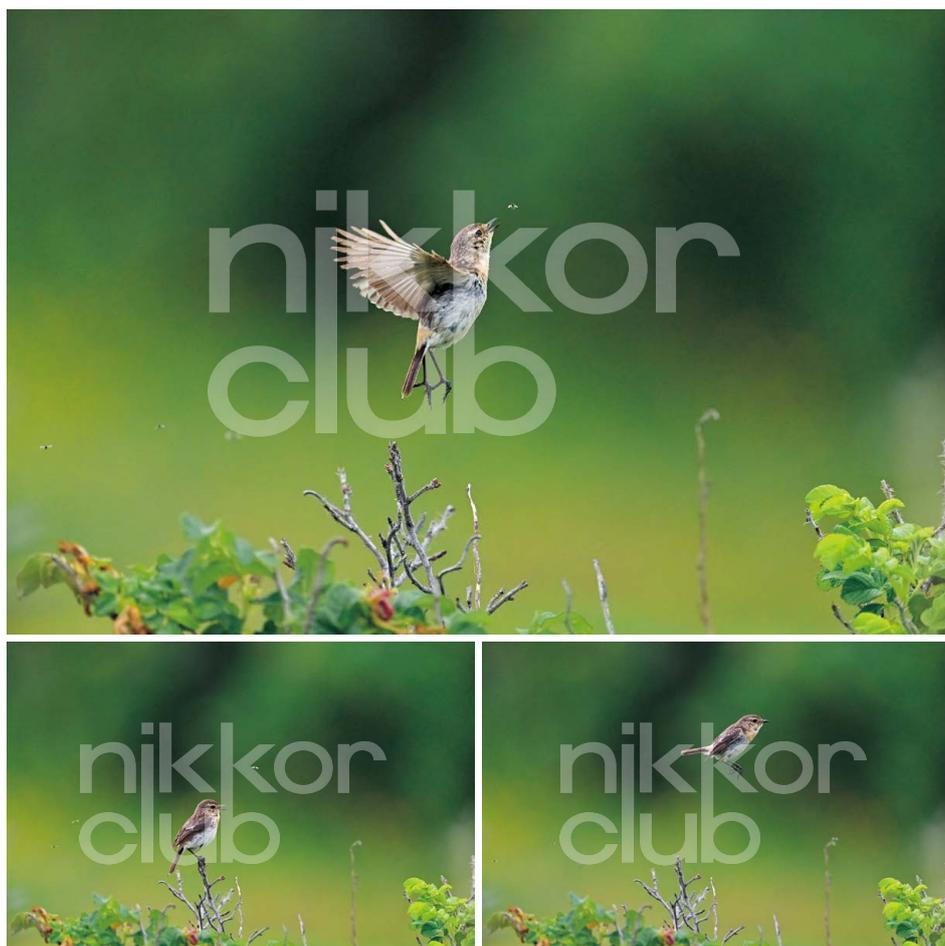
ハイマツ帯で見つけた美しいギンザンマシコのオス。警戒させないように物陰に隠れながらそっと撮影した。 Z8・NIKKOR Z600mm f/4 TC VR S-f/5.6-1/125秒・ISO360



## おすすめ機能 1 プリキャプチャー



ノビタキのフライングキャッチをプリキャプチャーC120(120コマ/秒)で撮影。リリースしてから最大1秒間遡って一連のアクションを記録できる。



左下の写真はリリース1秒前でノビタキはまだ枝にとまっている。右下の写真は通常撮影時に撮れるであろう写真で、撮影者とカメラのタイムラグによりシャッターチャンスを逃している。そして①の大きな写真はノビタキが昆虫を捕らえる瞬間のベストショットだ。

Z 8・NIKKOR Z 600mm f/4 TC VR S・f/5.6・1/6000 秒・ISO4000

Z 9やZ 8に搭載されているプリキャプチャーは、シャッターボタン半押し状態をキープ後、全押しから最大1秒間遡って記録できるという、野鳥の飛び立ちの瞬間など生態写真を撮るのに便利な機能です。撮影時は事前準備が必要で、カスタムメニューd3「プリキャプチャー記録設定」より、「プリ記録時間」と「リリース後記録時間」を任意設定しておきます。そしてリリースモードを「ハイスピードフレームキャプチャ+」のC30(30コマ/秒)、C60(60コマ/秒)、C120(120コマ/秒)のいずれかに設定して準備完了。なおハイスピードフレームキャプチャ+設定時の記録画質はJPEG NORMALのみで、C30、C60、C120それぞれで記録可能なフォーマットや画素数等が異なるので要注意。



樹洞で眠るフクロウ。前ボケに木の幹を取り入れているのと、フクロウが木に同化しているため被写体検出は機能しづらい条件が揃っている。AFエリアモードはWIDE-Lに設定し、サブセレクター操作でAFエリアをフクロウに合わせて確実にAF撮影できるようにしている。

Z 8・NIKKOR Z 600mm f/4 TC VR S・f/4.8・1/250秒・ISO64・AFエリアモード



## おすすめ機能 2 AFエリアモード WIDE-L

Z 9とZ 8のオートフォーカスは9種類の被写体検出が可能で、もちろん鳥も対象となっています。背景がスッキリしている水辺などでは画面全体でAF撮影できるオートエリアAFでも被写体検出精度は高いのですが、林内や草地などの撮影時は木や枝などに惑わされて思い通りに被写体検出してくれないことも多々あります。そこでAFエリアをある程

度絞り込んで撮影者の意図をカメラに伝えることが有効で、AFエリアモードはWIDE-Lが使いやすいです。またカスタムメニューa8でAFエリアモードを限定しておくことで操作を簡素化できます。さらにAF-ONボタン押下時はシングルポイントAFになるようボタンカスタマイズしており、枝越しの鳥などにピンポイントでAFを合わせられるようにしています。

## おすすめ機能 3 DXクロップ

野鳥は小さいため警戒心が強く、むやみに接近すると逃げられるうえ野鳥の生活を邪魔することになります。野鳥との適切な距離感を保って撮影するためには野鳥撮影の標準レンズは800mmと言われますが、それでも十分な大きさに写せないことも多々あります。そこで便利なのがDXクロップで、画素の一部を切り出すことで1.5倍の望遠効果が得られます。

これは400mmレンズなら600mm相当、800mmレンズなら1200mm相当の画角で使えることを意味します。クロップすると画素数は目減りしますが、Z 9とZ 8は4571万画素と高画素機でありDXクロップしても約1900万画素得られるので十分な画素数といえるでしょう。Fn2ボタンでFX-DXフォーマットを切り替えられるようカスタマイズしておくことで便利です。



Z 8にNIKKOR Z 600mm f/4 TC VR Sを組み合わせ、内蔵1.4倍テレコンバーターを使用して840mmで撮影したキビタキ。周囲の枝が混んでいて煩雑な印象なのでもう少し大きく撮りたいが、これ以上は接近できないのでDXクロップで1.5倍の望遠効果を得て1260mm相当で撮影した。

Z 8・NIKKOR Z 600mm f/4 TC VR S・f/5.6・1/125秒・ISO400



Z 9 · NIKKOR Z 35mm f/1.8 S · f/5.6 · 1/250秒 · ISO100

傘を持った女性が  
階段を登りきった一瞬に  
生まれた構図のバランス。  
光と影、  
有機的なもの無機質なもの。  
複雑な要素が重なりあう。  
スナップは瞬間の勝負。  
Z 9の瞬発力が  
それに応えてくれる。